福祉に関する意識啓発について

１　開催日時

平成 30 年（2018 年）11 月 17 日（土）午前 11 時から午後４時まで

２　場所

健都レールサイド公園（健都オープンイベント内）

３　事業報告について

今年度で２回目の取組となる本取組は、福祉に触れることが少なく、関心の薄い方たちに向けて啓発を行うことを目的として実施しています。

今回も幅広い年齢層の方々に訪れていただけるよう、市内外から注目されている北大阪健康医療都市（健都）で開催された「健都オープンイベント」で福祉に関するブースを設けました。

健都オープンイベントは「VIERRA 岸辺健都」のオープンと岸辺駅に直結する公共通路の供用開始の「健都オープンセレモニー」に併せて健康づくりや医療関連をテーマとした市民参加型イベントとして開催されました。

本取組を進めるにあたっては、イベントを所管する市北大阪健康医療都市推進室と協議を行う等、庁内間で連携をして進めてきました。

ブースの内容は、吹田市社会福祉協議会及び CSW の PR と災害ボランティアセンターでの活動の紹介を行いました。

ブースには、小さな子どもから高齢者まで 303 人の方に訪れていただきました。

表１　参加者の内訳

	10代未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代～	計
男	69	22	2	12	14	1	1	121
女	66	21	10	33	34	3	15	182
計	135	43	12	45	48	4	16	303

ブース内では CSW に関するクイズコーナーや活動紹介（吹田市社会福祉協議会や災害ボランティアセンター）のスライドショーを行いました。また、啓発物品としてパンフレット、こども社協だより、PR ティッシュ、缶バッジ等を配布しました。

図１　啓発物品

今回は、ブースに興味を持って来ていただき、ゆっくりと話を聞いていただけました。

クイズコーナーでは、多くの方々に来ていただきました。クイズの答えが啓発物の中に書いてあるように工夫されていたため、参加者は啓発物を読みながらクイズに答えていました。

活動紹介のスライドショーでは、吹田市社会福祉協議会や災害ボランティアセンターの活動を見ていただきました。

図２　ブース内の様子

また、来場者とのコミュニケーションの一例として以下のやり取りがありました。

来場者　「社会福祉協議会はどのような人を対象として活動していますか。」
CSW　「全員を対象としています。」
来場者　「知らなかった。」

このように、来場者とのコミュニケーションを交わしながら社協や CSW の説明し、PR することができました。

来場者は 10 代以下の子どもとその親が多く、若い家族の方に福祉に関することを伝える機会となりました。来年度以降も継続的にこの取組を進めていき、一人でも多くの方に福祉に触れて、興味を持っていただく機会を提供することで地域福祉の向上につなげていきます。